



幼稚園とラヂオ

倉 橋 惣 三

四〇

今度、學校放送の開始と共に、幼稚園の時間さいふも、始められることゝなつた。これは久しい宿題の實現であつて、大に歓迎すべきことである。このことは、我國のラヂオ事業の上に劃期的であるといはれる。しかも、それ以上、幼稚園教育の上に重大の意義をもつことである。今日でこそ物珍らしく、一週間僅に一回さいふ試験式のことに止まるが、將來に於ては、もつと本質的に幼稚園の保育法の一部として見られるに至るものに相違ない。これは學校放送全般に通じてそう言へることである通り、幼稚園に於ても同様である。今では、放送局の方で、如何にしてラヂオを學校と幼稚園とに送らうか苦心してゐる。し

かし之れは逆である。學校と幼稚園が、如何に有利にラヂオを取り入れようか工夫すべき筈のものである。斯うした見方でラヂオに對することは、少くも餘り遠からぬ將來に於て、この學校にも幼稚園にも、普通尋常のことになるであらう。ラヂオの問題ではない。教育の問題である。

二

先き先きのことは暫く別にして、今日だけの話をするにすれば、問題は聴取の方法である。先づ全國の各幼稚園にラヂオの設備をすることを勧める。大きな學校に於ける設備は相當大規模の設計で、従つて相當多くの設備費を要するが、幼稚園の遊戯室程度では、なんなら家庭用のものでも足りるのである。たゞ、音質だけは充分優秀な器械であ

るこゝが望ましいが、音量の方では、大したこゝは少しも
いらぬ。寧ろラヂオこゝへば、無暗に大きな音を出させ
るのを加減して貰ひたい位である。聴取料は幼稚園は無
料、經常費は殆んど物の數にも上らない。

聴取計畫に就ても、今日のこゝろ毎火曜日一回（午前十
時十分から十分間）であるから、他の保育計畫に特に根本的
變更を加へるこゝろの必要もない。そのプログラムは、
朝の新聞紙に出るし、注意深い人なら前夜のラヂオでも知
れる。しかし、それでは餘り急であるから、放送局に申込
んで豫定番組表を送つて貰ふに越したこゝろはない。又、そ
れだけの用意は是非して置いた方がいゝ。

次にいよゝ火曜日の午前である。ラヂオはいふまでも
なく時間を一分も違へない。のみならず、それに驅けつけ
るこゝろ風の仕方では、到底落ちついた聴き方が出来ない
から、少くも五分前位までには、幼児をちやんこ席につけ
て置く必要がある。若し又、その日のプログラムに關聯し
て、その前に話してもして置くすれば、一層落ちつかせ
得るであらう。兎に角二三分前にはスイッチを入れて置く

て、最初の聲から聴き落さないやうにしなければならぬ。
殊に、その前から、充分器械をあはせて置くこゝろは最も大
切である。時間が始まつてから音の具合を調節したりする
不用意は、大いに禁物である。

プログラムの中には、幼児の齊唱を促すようなものもあ
るかも知れない。しかし、多くは、靜かに聴かせるもので
ある。童話にしても、音楽にしても、その他、幼児に注意
を集中させる場合が多い。こゝろが、純聽覺的注意の集注
こゝろは、幼い子も、殊にそれが多勢集つてゐる時
には、必ずしも容易でないものである。この點の訓練こそ
ラヂオ聴取の最緊要事である。これが爲には、騒いでは聴
えなくなるこゝろを、よく言ひきかせて置くこゝろもよから
う。人の邪魔になつては悪いこゝろを、よく話して置く
のよからう。しかも、その時になつて何より一番大切
で又有效なこゝろは、先生方が靜坐して傾聴してゐるこゝろで
ある。

學校放送では、聴かせながら、先生は先生として活動し
なければならぬこゝろもある。しかし、幼稚園では、たゞ聴

いてゐればいゝこまが多いであらうし、何しろ十分間であるから、第一その暇もない。先生自身熱心に聴いてゐる態度そのもので、幼児達を指導する外はない。幼児と共に聴くさいふ以上、自ら先づ熱心に聴くこまによつて、幼児の注意を集注させる必要があるのである。

尙ほもう一つ大切なこまは、十分の放送が終つた後に、すぐ急いで立たせたり、騒々しく其の席を動かせたりしないこまである。暫時靜かにしてゐて、徐ろに立つやうにさせ度い。之れは直接に話をき、音楽をきく場合でも同じ心がけでなければならぬが、ラヂオの場合特に大切である。餘韻を味はふさいふ程の深いこまは幼児に要求すべきでもないが、お話や音楽の折角の効果を、あわたしきで消したり弱めたりするこまは最も惜しい。しかも一番先きに立つものが先生であるこまは、ついでいふよりも、當りまへのこまらしく誤り考へられてゐたりするこまである。

三

放送のプログラム内容に人選に就ては、その特別委員

諸君の方で最善を期してゐるが、その個々の放送に就て、放送者諸君の苦心も亦容易でない。聲だけで充分に効果的に印象する話し方、しかも十分さいふ嚴守條件の下に、その効果を發揮させるこまは、餘程の苦心なしには出来ないこまである。従つて、幼児はたゞ楽しく聴いてゐるこまとしても、先生にはその苦心から學ぶべきところが極めて多い筈である。この意味に於て、之れは教師のためのいゝ參考であり、少くもいゝ研究の機會を提供せざるにないであらう。直接に幼児の前に立つ時には、表情や手振や、その他いろ／＼の所謂補助作用が使へる。時としては、幼児を抑へる爲に、らゐの手もあり得る譯である。比較的活殺自在である。それがラヂオでは、一切除かれてゐる。効果を生むものは、聲、發音、語句、緩急、抑揚等、聽かせ方にして純な要素ばかりである。技巧上の細心な注意なくしては成功し難い。殊に、ラヂオの聲ほゞその話手の心の動きのありのまゝを傳へ又裏切るこま眞實なものはない。口さきの技巧では決して、眞の効果は得られない。それこそ、ほんまに心の底からの苦心がいるのである。しかも、その

効果に對して、最も敏感で最も正直な幼児が聽いてゐるのである。幼兒さいふ反射鏡に、まつさもこしらへて、さいも直に反映せずしてはゐないのである。こんなさいふ研究機關はないといつていゝ。

教師の時間さいふものが、放課後に設けてある。これは、先生の研究のための放送である。そこにいろいろ有益なこゝが教へられるに違ひない。しかし、それに劣らぬ有益な研究が、苟も研究心ある先生には、子ぎもへの放送時間に於て出来ると思ふのである。それは何も、今後自分が放送する時に役に立つだけの研究ではない。聲音の純粹效果に對する、殆んき科學的な程の鋭い研究である。誰れでも、幼兒のために語り又歌ふ時に役に立つ研究である。

四

先生の研究はまあ第二さいもしても、子ぎものために折角放送せられるのである。何よりも先づ、子ぎもに聽かせるこゝにつまむべきである。そして、その一つ／＼の放送をそれさいもして聽かせるだけでなく、進んでは、幼稚園の全保育の中へそれをさう利用し活用するか、そこまで次第に工夫

せられてゆく必要がある。ラヂオはラヂオで別もの扱ひされるのでは、除けものにされるよりはいゝかも知れないが、まだ足りない。そして、それこそ、先生の大きな働きに俟つのである。ラヂオが発達すれば先生がいらなくなるなんさいふこゝは、冗談半分ながら往々言はれる言葉である。以ての外である。若しそんな言葉が、ラヂオの効果の力説のために言はれるとしたら、所謂最負の引き倒しである。幼稚園は先生あつての教育機關である。そんな文明の利器ミ雖も、先生の位置を奪ふこゝは出来ない。幼稚園放送でも學校放送でも、ラヂオによる教育さいふ意味は、ラヂオが先生の代役をつさめるさいふのではない。先生がラヂオを使ふこゝの意味である。言ふまでもないこゝであるが、萬一考へ違ひされたら、飛んでもない最大誤謬である。

五

火曜日の午前十時十分。全国の幼兒が一齊に同じ樂しみに居るさいふこゝを考へるだけでも愉快なこゝである。